

平成 30 年第 4 回定例会一般質問通告事項

9 月 7 日 午 後	岡野長寿議員（日本共産党） 質問方式：一問一答方式
	<p>1 豪雨災害から学ぶ街づくりの施策について</p> <p>(1) 公共事業の予算配分の重点を排水路、生活道路の整備に置くことについて</p> <p>イ 排水路の浚渫が十分でなかった例について、全面的浚渫の方針を立て、予算措置をとるか。</p> <p>ロ 排水路、排水管の基準の見直しの必要性がある個所等について、とりまとめ、改善する計画を立てるか。</p> <p>ハ 陥没の危険がある生活道路の整備要求を後回しにしていた個所は何か所あるか。また、このような個所のいっせいで整備をする計画をたてるつもりがあるか。</p> <p>(2) 浸水被害の拡大を最小限に食い止める施策について</p> <p>イ 因島中庄町新開、丸池地域に床上浸水など被害が広がった問題について今後断水時にどうポンプを動かすのか。 また、樋門の管理はいかなる改善が計画されているか。</p> <p>ロ 他の地域にも浸水被害があったようですが、ポンプ場のポンプの作動状況はどうなっていたのか。</p> <p>(3) 二度と全面断水など起させないためにどうするか</p> <p>イ 複数の水源を確保することが必要との認識に達しているか。 瀬戸田の中野浄水場は復活整備できないか。市有の井戸はすべて廃止したのか。</p> <p>(4) 橋の通行料金支援について</p> <p>イ 島嶼部では風呂や洗濯に本土への通行を余儀なくされたが、その負担軽減を国や県に求めたか。本四高速によって軽減措置がなされたが、そのことをどう受け止めているか。</p> <p>ロ 市民の特定は免許証 1 枚でできた。市民を対象にした橋代軽減は「市民の特定が困難」とのこれまでの答弁を撤回するか。</p> <p>ハ 今回の教訓を踏まえて橋代軽減措置を検討すべきではないか。</p> <p>二 仮に検討する場合、合併特例債を利用すれば、市の負担部分は随分軽減される。橋代を半額軽減するとすれば市と国の負担割合はいくらになるか。</p>